

よしやのぶこ
吉屋信子（1896年～1973年）



栃木県で少女時代を過ごし、栃木高等女学校で学びました。

大正・昭和にかつやく活躍した日本の小説家です。『安宅家の人々』『鬼火』で第4回日本女流文学者賞

じゅしょうを受賞しました。